

入試について

【一般入試】

9月期：平成28年9月10日(土)[出願8月22日－9月2日]

2月期：平成29年2月18日(土)[出願1月13日－2月3日]

【試験科目】

「英語」と「生物学」の筆記試験の成績と面接試験の結果を総合的に評価して合否を決めます

募集要項、学費などの資料請求は、

理工学部事務部(内線5115) daigakuin@itp.kindai.ac.jp

課程に関するお問い合わせ

興味のある方は、気軽に問い合わせください。

田村和朗(課程責任者)：TEL 06-4307-3438(直通)

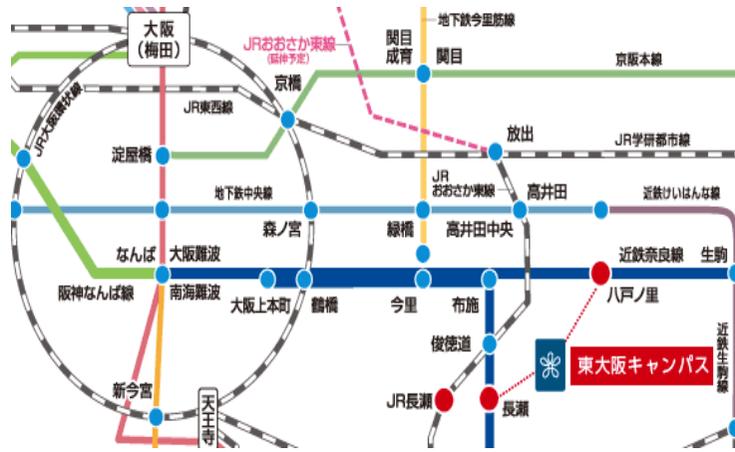
tamura@life.kindai.ac.jp

- 入試説明会：於 22号館 3F 遺伝カウンセリング演習室
7月23日(土)午後1時受付開始
- オープンキャンパス：於 38号館 1階ロビー
7月24日(日)、8月27日(土)、28日(日)、
9月25日(日)

修了生の進路

年度	卒業者数	主な就職先
19	5(男1女4)	国立病院、公立小児専門病院、保健所、民間不妊クリニック
20	4(男1女3)	検査会社、公立小児専門病院、民間不妊クリニック、民間がん専門病院
21	4(男2女2)	公立病院、民間不妊クリニック(2)、私立大学附属病院
22	3(女3)	私立大学附属病院、民間病院、民間栄養施設
23	4(男2女2)	高等学校教員、国立病院、不妊クリニック、検査会社
24	3(男1女2)	大学教員、国立大学附属病院、民間がん専門病院
25	5(男2女3)	国立病院研究センター、国立がん専門病院、国立大学附属病院(2)、公立小児専門病院
26	3(男1女2)	国立大学附属病院、私立大学附属病院、検査会社
合計	31(男10女21)	

アクセス



JR 大阪	JR大阪環状線 15分	JR-近鉄 鶴橋	近鉄大阪線 (普通) 10分	近畿大学 東大阪キャンパス		
JR 京橋	学研都市線 3分	JR 放出	JR-近鉄 俊徳道		近鉄大阪線 (普通) 2分	
近鉄 難波	近鉄奈良線 6分				近鉄長瀬	徒歩 約10分
JR 天王寺	JR大阪環状線 6分	JR-近鉄 鶴橋	近鉄大阪線 (普通) 10分			
JR 三ノ宮	JR神戸線新快速 (東海道本線) 21分	JR 大阪	JR大阪環状線 15分			
JR 京都	JR京都線新快速 (東海道本線) 29分					
近鉄 奈良	近鉄奈良線(急行) 22分	近鉄 石切	近鉄奈良線 (普通) 15分		近鉄 八戸ノ里	徒歩 約20分

大学院総合理工学研究科

理学専攻

遺伝カウンセラー養成課程

—平成29年度—



<http://www.kindai.ac.jp/sci/gene/>

近畿大学大学院 総合理工学研究科 理学専攻 遺伝カウンセラー養成課程

〒577-8502 東大阪市小若江3-4-1

TEL: 06-6721-2332 (代) FAX: 06-6723-2722



Kinki University

近畿大学

遺伝カウンセラーとは？

医療の現場において、遺伝的あるいは先天的な疾患に関する悩みを抱えている人や、医師から遺伝子や染色体の検査を勧められた人に対し、彼らが必要としている情報を提供し、心理カウンセリングを通して、彼らが自力で問題を克服するのを援助する準医療職が遺伝カウンセラーです。下記の要件が必要とされます。

- 最新遺伝医学の知識と適切なカウンセリング技術を身につけている。
- 社会福祉、医事関連法規、患者支援団体などの情報に精通して、社会的、法的、倫理的課題に対処できる。
- 患者やその家族を援助するために、医療チームの一員として他の医療専門職との間をコーディネートすることができる。

認定遺伝カウンセラー制度

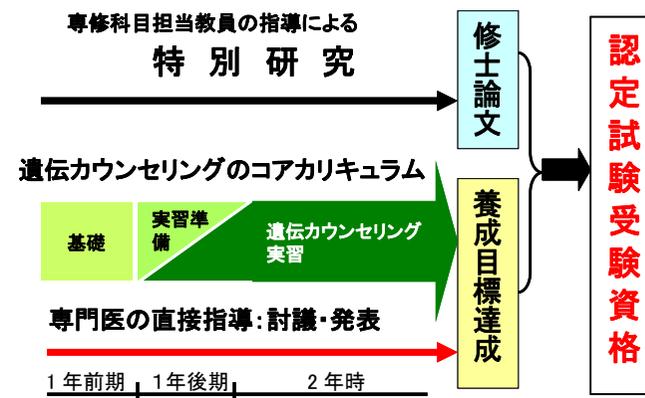
非医師の遺伝カウンセラーを養成する制度は平成17年に発足し、その年4月に本学遺伝カウンセラー養成課程は、「認定遺伝カウンセラー制度委員会」の第一回機関審査に合格し、遺伝カウンセラー養成の専門コースとして認定されました。認定コースの卒業生に限り、同委員会が実施する認定試験の受験資格が与えられます。



本課程の特徴

- 目的:** 生命科学関係の高度な研究技術と最新の知識を備えた遺伝カウンセラーを養成します。
- 養成対象者:** 確固たる目的意識をもっている4年制大学卒業者またはそれと同等な学位を持つ者。文系、理系の違いも医療業務に従事した経験の有無も問いません。
- スタッフ:** 当養成課程の教育スタッフは、臨床遺伝専門医や臨床心理士の有資格者を含め、遺伝学から生命倫理学の専門家まで総勢26名で構成されています。
- 京都大学との単位互換制度:** 京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻専門職学位課程との単位互換制度を設けています。当養成課程の学生は京都大学大学院の講義を受講して単位を取得することができます。また、**京都大学で定期的に開催される遺伝カウンセリングの合同カンファレンス**に参加し、さまざまな症例について関西一円の臨床遺伝専門医や認定遺伝カウンセラーと直接討論ができます。
- 遺伝カウンセリング実習:** 実習は近畿大学医学部附属病院、大阪府立母子保健総合医療センター、兵庫医科大学病院、国立循環器病センター、広島大学病院、IDAクリニック、大阪医科大学病院など、近畿・中国屈指の医療機関で行います。
- 取得できる資格:** 所定単位を履修すると理学修士の学位と「認定遺伝カウンセラー制度委員会」が実施する認定試験の受験資格を得ることができます。
- 理学博士の学位:** 養成課程を終えて、より深く遺伝カウンセリングを学びたい人には博士後期課程への途が開けています。そこでは、遺伝医学特殊研究を履修して理学博士の学位を取得することができます。

カリキュラムの概要



- 必須科目:** 人類遺伝学特論Ⅰ、Ⅱ、人類遺伝学演習、遺伝医療特論、臨床遺伝学Ⅰ、Ⅱ、カウンセリング特論、遺伝サービス情報学、遺伝医療と倫理、遺伝カウンセリング学Ⅰ、Ⅱを遺伝カウンセリング実習の準備に必須な科目として開講しています。
- 遺伝カウンセリング実習:** 医療機関で実際に行われている遺伝カウンセリングに陪席して、臨床遺伝専門医から指導を受けます。
- 選択必須科目:** 遺伝医学特論、ゲノム情報神経学特論、病理学特論、生化学特論、免疫分子機能特論環境生物学特論、発生・生殖生物学特論、タンパク質科学特論を、必須科目を補完する科目として開講しています。
- 特別研究:** 上記選択必須科目から1つを選択し、修士論文作成のため、選択した科目内容に沿った特別研究を担当教員の個別指導の下、2年間行います。
- 準必須科目:** 医療特論、心理学特論は、遺伝カウンセリングを行う上での知識を補強します。